

平成30年度市町村長会議の結果概要

【日 時】平成30年5月10日（木）
13時30分～15時20分

【場 所】浦和ロイヤルパインズホテル
（4階「ロイヤルプリンセス」）

【出席者】100名
（知事・県幹部職員、市町村長、市長会・町村会職員）

【概 要】

- | | | |
|-------------------------------|---------|------|
| 1 開会 | 【13:30】 | |
| 2 県幹部及び新任市長・町長紹介 | | |
| 3 市長会会長代理挨拶 | | |
| 4 町村会会長挨拶 | | |
| 5 議事（進行：町村会会長） | 【13:45】 | |
| （1）上田知事挨拶 | | |
| 県政運営の基本的考え方について | | |
| （2）意見交換（フリートーキング） | | |
| ア 保育士の確保について | | } 別紙 |
| イ 医療・介護等について | | |
| ウ 森林保全について | | |
| エ 産業振興について | | |
| 6 その他 | | |
| ・ラグビーワールドカップ2019大会について | | |
| ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について | | |
| ・アクティブシニアの活躍支援について | | |
| 7 閉会 | 【15:20】 | |

主な意見交換での発言

1 保育士の確保について

● 清水さいたま市長

- ・ 新しい経済政策パッケージが閣議決定されたが、保育・幼児教育の無償化措置の対象など制度の詳細は示されていない。
- ・ さいたま市では、預かり保育を新しい形で一定程度やっていただく幼稚園を「子育て支援型幼稚園」として認定する独自の認定制度をつくろうと考えている。このような制度も無償化の対象となるよう国に働きかけていただきたい。
- ・ 保育士宿舎の借上げ事業について、補助を継続していただきたい。

● 奥ノ木川口市長

- ・ 特別区との境にある川口としては東京都に人材が流出するという危機感がある。市単独で事業所にも負担してもらって上乘せ賃金を払うことで賃金格差を取り除こうとしている。川口市からも県の補助をお願いしたい。
- ・ 川口市でも将来保育園と幼稚園で園児の取り合いにならないよう、私立幼稚園協会に申し入れて市の条件に合う延長保育を実施している幼稚園に補助金を出し始めている。
- ・ 公定価格の地域区分は人事院の地域手当が発端で、厚生労働省にも影響している。是非全国知事会からも後押ししていただきたい。

2 医療・介護等について

● 畠山上尾市長

- ・ 埼玉県の後期高齢者の伸び率は全国で最も高くなっており、上尾市も県平均を上回ることが予想されている。
- ・ 県は市町村の地域包括ケアシステムの構築の取組状況または進捗状況をどのようにとらえているか。
- ・ 市町村の組織体制として専門の課が行っているところがあるか。
- ・ 埼玉県は全国でも最も高齢化の進展が早いですが、国が示す目標よりも早期に県全体として地域包括ケアシステムの構築を進める考えがあるか。その場合の市町村への助言方策などはどのようなものか。

3 森林保全について

● 井上毛呂山町長

- ・ 九州北部豪雨では想定外の雨量の影響もあり、スギ・ヒノキの山林の土砂が川に流れ出し、橋りょうに堆積して二次的な災害として河川の氾濫を招いた。
- ・ 昨今、森林が非常に荒れている状況がある。山を守るため木の伐採について県事業のてこ入れをお願いできないか。また、間伐や伐採などにも企業の森の関係の皆さんの協力、橋渡しをお願いできないか。
- ・ 森林環境税等が導入されるが、森林環境譲与税は山を有する市町村に多く配分されるのではなく人口の多い市に多く配分される。こういったところに山を守るという補助的なものがあるとよい。

4 産業振興について

● 小野桶川市長

- ・ 高速道路に新たなインターチェンジが設置された場合に、農地転用の許可や都市計画法による開発許可の基準が厳しく、企業誘致などの産業振興を図る上での土地利用に課題が出てきている。
- ・ 高速道路等の出入り口を中心に概ね300m以内の農地については転用を認められる規定について、一定の条件に基づいて500mや1000mに緩和するよう県から国等へ強く働きかけていただきたい。